

第 24 回 / 2026(令和 8)年度 通常総会

“全国ビオトープ人の出会い”

議 案 書

議 題

第 1 号議案 2025 年度事業報告

第 2 号議案 2025 年度決算報告

第 3 号議案 2026 年度事業計画

第 4 号議案 2026 年度収支予算

2026 年 6 月 12 日(金)

広島エールエール A 館 6F-1

(広島県広島市南区松原町 9-1)



特定非営利活動法人

日本ビオトープ協会

第1号議案 2025(令和7)年度事業報告

■総括

NPO 法人日本ビオトープ協会は法人格取得から21年(平成5年の協会設立から31年)を迎え、活動の方向性も地区を中心とした、地域の自然環境に配慮したビオトープの保全・創出活動を展開してまいりました。

2025年度は、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら各地区活動を行いました。総会後の公開フォーラム「ビオトープフォーラム in 札幌 2025」は予定通り開催、「ビオトープアドバイザー認定試験研修会・静岡」は、2025年11月に開催いたしました。

SDGsの社会・経済を支えるネイチャーポジティブにおいて、ビオトープの重要性は益々増していると実感しております。これからも、環境・社会に貢献する事業をさまざまな角度から展開し、また各地域皆様のご要望に応えた研修会開催等、一層のビオトープ事業の啓蒙と技術者養成をはかる所存です。

具体的な活動を下記ご報告申し上げます。

1. **総会** 「第23回通常総会」

日時:2025(令和7)年6月13日(金)11:00~11:30

会場:札幌市教育文化会館 4F 研修室 402(総会)

(札幌市中央区北1条西13丁目)

協会代表顧問・横浜国立大学学長の鈴木邦雄先生、協会顧問の平吹喜彦先生を来賓にお迎えし、司会進行は藤浪義之副会長、議長は鈴木元弘副会長にて行い、久郷会長より挨拶があった。担当理事・事務局から、2024年度の事業報告・決算報告承認後、2025年度事業計画・収支予算案を説明した。

2. **フォーラム**(総会後の公開講座)

「ビオトープフォーラム in 札幌 2025」

ー北の大地から・・ビオトープの原点を学ぶー

日時:2025(令和7)年6月13日(金)13:00~17:45

会場:札幌市教育文化会館 4F 講堂(フォーラム)・4F ギャラリー(ポスター展・環境講座)

主催:特定非営利活動法人日本ビオトープ協会

共催:自然環境復元学会本部および同北海道支部、北海道環境パートナーシップオフィス(EPO 北海道)

後援:北海道、札幌市、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、国土交通省北海道開発局、林野庁北海道森林管理局、(公社)北海道アイヌ協会、(一社)北海道造園緑化建設協会(順不同)

【フォーラム内容】

開会挨拶 協会会長 久郷慎治

祝辞 林野庁 北海道森林管理局 計画課長 寺村智氏

札幌市建設局みどりの推進部部長 石橋英二氏

第1部 第17回ビオトープ顕彰表彰式、鈴木邦雄顕彰委員会委員長 審査報告

・学校ビオトープ大賞:「上大野小ビオトープ」

・協会会長特別賞:「平取地域イオル再生事業」

・審査委員長賞:「バタフライガーデン(北陸電気工業(株)技術開発センタービオトープ)」

・地域活動貢献賞:「根浜ビオトープ」

・環境教育賞:「ナカビオ(ホテルが舞う学校ビオトープ)」

事例発表:「上大野小ビオトープ」および「平取地域イオル再生事業」

第2部 基調講演「ビオトープとイオル

ー生物多様性の高い森の再生とイオルとしての利用ー」

特定非営利活動法人近自然森づくり協会理事長

自然環境復元学会 理事・北海道支部長 農学博士 岡村 俊邦氏

- 講演 1「北海道開発局における河川環境の整備と保全の取組事例について」
国土交通省北海道開発局 建設部河川工事課 河川技術対策官 吉田 裕敏氏
- 講演 2 「生物多様性の源、北海道の森林管理について」
林野庁 北海道森林管理局 計画課長 寺村 智氏
- 講演 3 「生態系の保全と両立する林業・森林管理
—生物多様な北方林生態系を目指して—」
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 吉田 俊也氏
- 特別講演「里山資本主義・SDGs の原点である生態圏 ・・里山が宝の山に・・
—「よわきもの ちいさきもの」の世紀へ、一刻も早く転換を—」
元 NHK 報道番組エグゼクティブプロデューサー 作家・映像作家
介塾代表 井上 恭介氏

閉会の辞 日本ビオトープ協会 副会長 佐竹一秀

参加者:148 名

本年度のフォーラムは、自然環境復元学会本部と北海道環境パートナーシップオフィス(EPO 北海道)との共催で、充実した内容となり盛会裏に開催することができました。関係官庁他のご後援と講師の先生、特に北海道東北地区委員会の協会員の方々をはじめ、多くの皆様にご協力をいただき、心より厚くお礼申し上げます、今後ともご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

※フォーラム報告書は協会 WEB 活動実績ページ等に、顕彰紹介は協会誌 56 号 P.17-19 掲載、また協会 WEB ビオトープ顕彰ページに UP しております。

◇フォーラム 2 日目見学会

日時 : 2025(令和 7)年 6 月 14 日(土) 8:30~12:30

場所 : 「石狩川河畔林再生事業」 岡村先生コーディネート

参加者: 22 名

3. **常任委員会の活動報告**

A) 総務委員会

協会員である事が価値感を感じる活動を新規検討する。

法人会員・個人会員ともにそれぞれが価値観を感じるものを具体的に実施する方向で進めて行く。
元気な事例から学び行動計画を立案し実行していく。それに向けて全会員で挑戦していく。

- ① ビオトープだよりの発行のアシスト
- ② 会員からの相談事項への対応
- ③ 出前授業の開催
- ④ 「ビオトープってなあに？」冊子、「ビオトープづくりの心と技」本の活用
- ⑤ 顕彰の募集のアシスト
- ⑥ 総務委員会の情報交換とビオトープ協会の改善

B) 情報委員会

- ① 機関誌「ビオトープ No.56」2025 年 8 月末発行
機関誌「ビオトープ No.57」2026 年 1 月末発行
- ② 第 1 回情報委員会
日時:2026 年 2 月 25 日(水) 15:00~16:55
場所:連合会館 405 会議室
内容:協会誌 58・59 号企画会議 正副会長会議メンバー協力

C) 研修委員会

- ① 「事例で学ぶ ビオトープづくりの心と技—人と自然がともに生きる場所」販売促進

- ② 認定研修会等への協力
 - ・BA 認定試験研修会・静岡会場開催
- ③ 現地研修会の実施

D) 技術委員会

- ① 技術メモの発信
 - ・「技術メモ No18」2025 年 8 月 1 日発信済み
 - ・「技術メモ No19」2025 年 9 月 1 日発信済み
- ② 各地区フォローアップ
 - ・「R7年度静岡地区興津中町浄水場ポット苗生育調査」2026 年 3 月 18 日調査、3 月 22 日調査報告書提出
- ③ 樹木医学会樹木医学研究
 - ・2025.No3、2025.No4 に神宮外苑関連発表

E) 顕彰委員会

- F) 第 17 回顕彰委員会(2024 年度募集)
 - 日時:2025 年 4 月 15 日(火)13:00~14:45
 - 場所:連合会館 4 階 405 会議室
- ① 第 18 回(2025 年度)ビオトープ顕彰募集は例年通り推進
 - ・募集締め切り:2026 年 3 月 12 日
 - ・募集案内は 9 月に会員・BA メーリングリストへ、協会 WEB に UP
 - 2026 年 4 月 20 日顕彰委員会開催受賞者選定 (連合会館)

■ビオトープアドバイザー資格関連研修会

【ビオトープアドバイザー認定試験研修会】

- ◎第 43 回ビオトープアドバイザー認定試験研修会 in 静岡、更新研修会
 - 日時:2025 年 11 月 5 日(木)・6 日(金)
 - 会場:あさはた緑地会議室 見学:あさはた緑地
 - 受講者:新規 27 名、更新 2 名

【ビオトープアドバイザー更新】

- ・2025 年度更新対象者 14 名 最終更新計 7 名

【主席ビオトープアドバイザー 新規・更新】

- ◎第 13 回主席 BA 認定研修会
 - 日時:2025 年 10 月 17 日(金)13:00~15:00 審査:鈴木邦雄先生
 - 更新 1 名、新規 1 名 ビオトープ指導の得意分野を説明・発表
 - ◎第 13 回主席 BA 更新 ※更新者は今年度書類・レポートでの審査となった。
 - 更新対象者 5 名うち 4 名(1 名は上記で発表) 書類審査:鈴木邦雄先生
- 現在、39 名の主席 BA が全国で活躍中

4. 地区委員会の活性化

ビオトープに優秀な技術・ノウハウを有している法人会員、地区で活動している個人会員、ビオトープアドバイザーが力を結集し、地域性の強いビオトープの復元・創出して社会に貢献していくために、地区委員会事業を第一義に活動してきた。全国 8 地区の地区委員会はその土地に応じた様々な事業を実施し、ビオトープの理念、啓蒙の発展に貢献した。

■地区の活動報告:研修会・視察会、共催事業の実施

<北海道・東北地区>

- 1. 大槌町「ミズアオイの池をみんなで守る会」活動支援他
 - ・湧水エリア発芽促進かく乱作業(4/12)
 - ・釜石根浜ビオトープ顕彰応募(4/15 受賞)

- ・次年度エコアップ計画(植栽)助成金申請獲得(辻先生)
 - ・ミズアオイ町民観察会 座学(8/24)
 - ・奥州市 FS 社ビオトープ計画地調査(4/17)
 - ・東和町たてまち地域づくり協議会ビオトープ計画(現地調査 10/8・講座開催 2 月予定)
 - ・地域の未来を考える会議 in 盛岡 2025(NOWAC 設立 10 周年記念フォーラム)後援(12/2)
2. いわき市三和町ホタル水路再生計画」の支援
 - ・いわき市立三和中学校「ホタルの生態と環境保全」勉強会(7/1)
 - ・第3回ほたるのさんぽみち in みわ(三和町商工会主催:7/5)
 - ・ホタルの生息調査・捕獲・小学校主催ホタル放流会(7 月)
 - ・三和小学校児童によるカワニナの繁殖(継続実施)
 - ・ホタル水路・ハナショウブ田の維持管理(6/8)
 3. 尾花沢市「徳良湖」環境調査・清掃活動(4 月下旬)・講演会支援(継続)
 4. 大石町「町民の森」環境調査・清掃活動(4 月下旬)
 5. ビオトープフォーラム in 札幌 2025 及び関連事業の開催
 - ・フォーラム・エクスカーション(6/13,14)
 - ・写真展・ポスター展・環境講座(6/12,13)
 6. 会員の拡大 法人会員 1 社、個人会員平取町 2 名入会

<関東地区>

1. 自治会・学校ビオトーププロジェクト継続支援実施
 - ・前渡小 学校観察園ほたるの森 ホタル放流会(ひたちなか市)
 - ・村松小ビオトープ ホタル放流・観賞会(東海村)
 - ・常葉台ビオトープ ホタル観賞会 生物調査 2 回(ひたちなか市)
 - ・高野宿ビオトープ ホタル放流・観賞会 生物調査 3 回
 - ・前渡小 村松小ビオトープ改修支援
2. 地域ホタル飼育活動の継続実施
3. 上大野小学校ビオトープ計画支援(茨城県水戸市)
4. 赤羽小学校ビオトープ運営継続支援(東京都港区)
5. 他団体との情報連携強化
6. 会員拡充

<北陸・信越地区>

1. 県内ビオトープ関連団体との交流及情報連携
 - ・ビオトープ管理士会富山県支部との合同研修会
 - ・富山県ビオトープ協同組合との先進地視察研修
 - ・射水ビオトープ協会との勉強会
2. 会員の拡大
 - ・隣県の石川県・新潟県への働きかけ
 - ・BA を介した会員の勧誘
3. 日本ビオトープ管理士会信州支部の研修会「ビオトープを活かすプラットフォームとしての域経済」に参加(11 月 29 日)
4. 「“とやま”川の会 現地研修会」に参加(12 月 15 日)

<静岡地区>

1. 静岡地区会及び研修会の開催 9 月 12 日
2. 麻機遊水地保全活用推進協議会の参加
 - ・麻機遊水地クリーン作戦参加 5 月 24 日
3. 麻機湿原を保全する会 活動支援
 - ・サクラタデ自然観察会 10 月 18 日
 - ・希少種保全エリア環境整備 3 月 26 日
4. 中町浄水場里山再生 指導及び協力 3 月 18 日

5. 学校、福祉、企業ビオトープ維持管理支援
 - ・ 児童施設 ビオトープ管理アドバイス 5月13日
 - ・ 企業ビオトープ経過観察、水路補修 5月29日
6. ビオトープアドバイザー認定研修会 11月5日、6日
7. 会員の拡大 個人会員 2名入会

<中部地区>

1. 中部ブロック会議の開催
2. 生物多様性ネットワーク協議会への参加
3. 愛知県主催の環境イベントへの参加
SDGs AICHI EXPO 2025 in Aichi Sky Expo 出展
ビオトープの重要性についてパネル展示
10月3日(金)~4日(土) 10:00~17:00
愛知国際展示場(Aichi Sky Expo)展示ホール
来場者数:5,618名
協会ブースにも多くの方に来ていただきました。
4. ビオトープ勉強会 12月2日(火)
中金小学校 ビオトープ池浚渫・生き物観察会
5. 協会本『ビオトープづくりの心と技』の販売活動

<近畿地区>

1. 工場内ビオトープ(みどりといきもの)の保全活動へ協力
2. びわこ地球市民の森 カメ観察会
3. 滋賀県特定外来生物対策への協力(ナガエツルノゲイトウ除去)
4. 琵琶湖岸ヨシ植栽とハマゴウと地域の勉強会および保全活動への協力
5. 農業用排水路の水草 重要貴重種アサザ保全対策 地域清掃活動への参加協力、藻の除去
6. 老蘇小学校ビオトープ観察会協力
7. 希望が丘文化公園(森・小川などにて) 観察会・調査

<中・四国地区>

1. 古鷹山ビオトープ保全活動(江田島市)
 - ・ビオトープの撫育管理
 - ・ビオトープ観察会の実施
2. 安芸津観察会の実施(東広島市)
 - ・公園の植物と生き物の観察
 - ・川の中の生き物観察
3. 呉市立和庄小学校への出前授業(4年生)
 - ・ホテルを通して環境を学ぶ(紙芝居他)
4. 会員拡充

<九州地区>

1. 地域自治区・学校ビオトープ活動支援:状況観察実施
2. 海岸浸食状況把握
 - ・日向灘ウミガメ孵化送り出し会:浸食状況に歯止めをかける取組の確認・調査継続実施、ウミガメ生態観察
 - ・送り出し観察実施
3. 蛍の里環境清掃・学習会:蛍の里環境清掃・近隣自治区環境育成地協力
4. 出で野山ほたる里水路(小林市)維持管理工法勉強会
5. 会員拡充:継続呼びかけ実施

CSR 推進企業とのコラボレート(協働)

ビオトープの創出・復元の知識、技術のある会員は CSR 活動をして緑の再生、環境づくりに参画して社会貢献しようとする企業をバックアップ
野村不動産株式会社の CSR「ホテルのすむ街づくり展 2025」開催

学校支援

「大井町自然観察再生園」一都会における自然環境の復元—
学校法人小野学園(東京都品川区)が、学校内にホテル自生研究室を設置、また学園の管理する敷地に学校ビオトープを作り、2011年「第22回緑の環境デザイン賞」の「国土交通大臣賞」を受賞。協会では全面的に協力、継続してバックアップを行っている。

自然環境復元学会への後援・協力

- ・自然環境復元学会・日本ビオトープ協会 合同シンポジウム
「ネイチャーポジティブな都市へ —暮らしの中で育む自然との共生—」
日時:2026年2月20日(金) 13:10~15:10
会場:日本大学理工学部 1号館 131教室/オンライン配信あり
参加費:無料(申込不要)※合同シンポジウムのみであれば無料
内容:○平吹喜彦学会長の挨拶、藤浪義之ビオ協副会長の挨拶○特別講演:自然共生サイト「さいたま市桜環境センター」の取り組み事例、「あさはた緑地」市民と共に進めるネイチャーポジティブ、ほか○パネルディスカッション
- ・「自然環境復元学会 第26回全国大会(研究発表会)」
日時:2026年2月20日(金) 9:00~18:00
会場:日本大学理工学部 1号館 131教室/オンライン配信あり
主催:自然環境復元学会 後援:特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会(賛助会員)
内容:若手発表、一般発表 ※間に上記シンポジウムをはさむ

6. 特別委員会(顕彰委員会)

2025年度に募集したビオトープ顕彰の審査を2026年4月に実施
第18回目となる優秀なビオトープの顕彰は多くの応募をいただき、顕彰委員会委員長・協会代表顧問の鈴木邦雄先生はじめ、各委員の真剣な審査の結果、受賞ビオトープが決定した。
「第18回顕彰委員会」2026年4月(火) 場所:連合会館 405会議室(東京都千代田区)

審査結果

- ・ビオトープ大賞:「イタトープ」(近畿地区、兵庫県)
- ・審査委員長賞:「三和町ホテル水路ビオトープ」(北海道東北地区、福島県)
- ・協会会長特別賞:「モリアオさん家のビオトープ」(近畿地区、兵庫県)
- ・環境学習推進賞:「すいこう認定こども園ビオトープ」(中四国地区、広島県)
- ・プロアクティブ功労賞:「Aisan みらい工場ビオトープ」(中部地区、愛知県)

○鈴木邦雄顕彰委員長より全体の講評

今回も各支部から優れたビオトープが推薦されました。いずれもが、多様なステークホルダーの協働によるビオトープの造成に始まり、維持管理、環境教育、地域貢献など優れた取り組みであり、高く評価できました。今後も各団体が継続的にビオトープの普及啓蒙に貢献することを期待しています。

~~~~~

2026年度には協会設立33年、NPO法人として23年目を迎えます。活動は軌道に乗りつつありますが、各地区において、ビオトープを通じてみどりの環境づくりに貢献する協会として認知されるには、まだ多くの課題があります。

当協会にはビオトープ事業関連に優秀な技術・ノウハウを有している多くの法人会員、地域活動に活発に取り組んでおられる個人会員が参加されておられます。これらの力を結集し課題の解決に努力することが肝要であり、会員各位の格段のご協力をお願い申し上げます。

~~~~~

■2025 年度諸会議

- 顕彰委員会 4月15日(火)13:00~14:45 連合会館4階405会議室
- 第1回理事会 4月15日(火)15:00~16:45(○監査14:00~)
- 第23回通常総会 6月13日(金)13:15~18:00 札幌市教育文化会館 4F 講堂・ギャラリー
- 第1回総務委員会【WEB会議・ズーム】なし
- 第2回理事会 10月17日(金) 15:00~16:45 連合会館205会議室
- 正副総務役員会議 2026年2月25日(水)13:30~15:00 連合会館4階405会議室
- 情報委員会 2月25日(水)15:00~16:55 連合会館4階405会議室
- 第2回総務委員会【WEB会議・ズーム】なし cf.一昨々年は3月17日(金)13:30~15:00

第2号議案 2025(令和7)年度決算報告

(予算実績対比)

2025年度 収支計算書

2025年4月1日から2026年3月31日 特定非営利活動法人日本ビオトープ協会

科目	2025年度 予算額	2025年度 決算額	増減	備考
経常収入の部				
1 会費収入	5,400,000	5,450,000	-50,000	個人・法人・賛助会員計
2 事業収入				
ビオトープ技術者養成事業	750,000	832,400	-82,400	BA認定試験研修会・更新、主席BA認定更新、他
事例集書籍販売	25,000	0	25,000	書籍販売の終了 テキスト販売は として合算扱い
3 助成金				
ビオトープフォーラム	0	460,000	-460,000	北海道東北地区からの助成、フォーラム広告費
4 寄付金	0	0	0	
5 前期繰越金	573,234	573,234	0	
6 受託事業収益			0	
7 原価戻入		29,635	-29,635	ビオトープ維持管理改訂版等冊子
8 雑収入		82,893	-82,893	研修会の日程変更補填分50,000含む
経常収入合計	6,748,234	7,428,162	-679,928	
支出の部				
1 事業費				
ビオトープ技術者養成事業	600,000	575,555	24,445	
ビオトープ啓蒙事業				
資料作成(協会誌、パンフ等)	500,000	413,326	86,674	協会誌
WEBサイト	34,760	34,980	-220	サーバー利用料、メールリスト用サーバー利用料
常設委員会	150,000	121,702	28,298	総務・情報・研修・技術、他
特別委員会・その他委員会	150,000	59,803	90,197	顕彰、他
シンポジウム・セミナー	400,000	843,411	-443,411	ビオトープフォーラム2025、2026
各地区委員会活動費、他	330,000	181,320	148,680	
事例集	0	0	0	「ビオトープづくりの心と技」
BA基礎講座テキスト改訂、他	340,000	443,730	-103,730	謝礼110,210、印刷外注332,200
2 管理費				
旅費交通費	204,000	197,900	6,100	管理費各科目に総会関連費用含む
通信費	140,000	131,148	8,852	
会議費	10,000	0	10,000	
図書費	10,000	0	10,000	
支払手数料	10,000	1,870	8,130	
地代家賃	696,000	696,000	0	
水道光熱費	60,000	61,380	-1,380	
損害保険料	6,000	6,300	-300	火災保険
手数料	63800	64,460	-660	事務所更新費・不動産手数料
給与	2,400,000	2,400,000	0	
法定福利費	450,000	522,725	-72,725	
租税公課	700	0	700	
備消耗品費	20,000	0	20,000	
印刷費	30,000	1,100	28,900	
雑費	120,000	284,518	-164,518	自然環境復元学会賛助会費他 PC新規145,000含む
静岡事務所	0	0	0	
3 予備費	22,974		22,974	
経常支出合計	6,748,234	7,041,228	-292,994	
経常支出差額	0	386,934	386,934	
その他資金収入の部				
受取利息	0	2804	2804	
次期繰越正味財産	0	389,738	389,738	

2025年度 貸借対照表

2026年3月31日決算

特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会

単位 円

科目・摘要	金額		
資産の部			
1 流動資産			
現金	14,022		
普通預金・貯金	452,151		
前払費用	35,040		
未収収益	20,000		
仮払金	6,300		
流動資産合計		527,513	
2 固定資産			
敷金			
固定資産合計	59,000		
資産合計		59,000	
資産合計			586,513
負債の部			
1 流動負債			
未払費用	115,039		
前受金	0		
預り金	81,736		
流動負債合計		196,775	
2 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計		0	
負債合計			196,775
正味財産の部			
前期繰越正味財産	573,234		
当期正味財産増加額	183,496		
正味財産		389,738	
正味財産合計			389,738
負債・正味財産合計			586,513

2025年度 財産目録

2026年3月31日決算

特定非営利活動法人 日本ピオトップ協会

単位 円

科 目	摘 要	金 額
資産の部		
現 金	年度末手元残高	14,022
預 金	普通預金:三菱UFJ銀行本店	284,547
預 金	郵便振替口座	165,138
預 金	普通預金:ゆうちょ銀行	2,137
預 金	普通預金:静岡銀行本店(静岡事務所)	329
小 計		466,173
棚卸資産		0
前払費用		35,040
敷金		59,000
未収収益		20,000
仮払金		6,300
合 計		586,513
負債の部		
未払費用		115,039
前受金		0
預り金		81,736
計		196,775
資本の部		
正味財産		389,738

監査書

2025年度収支決算書(自2025(令和7年)4月1日至2026(令和8年)3月31日)、貸借対照表並びに財産目録を別紙の通り提出しますので、監査をお願い致します。

2026年4月20日

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
会長 久郷 慎治

監査した結果、その正確なことを認めます。

2026年4月20日

会計監査

佐川 憲一 

大場 淳一 

第3号議案 2026年度事業計画

■主たる活動方針

昨年は北海道札幌市に於いて『北の大地から・・・ビオトープの原点を学ぶ』というテーマでビオトープフォーラム in 札幌 2025 を札幌市教育文化会館 講堂とギャラリーをお借りして開催いたしました。岡村 俊邦氏の基調講演に始まり井上 恭介氏の特別講演、又北海道開発局からは吉田裕敏氏、林野庁からは寺村 智氏、北海道大学北方生物圏フィールド科学センターからは吉田俊也氏にもテーマに沿った講演を夫々頂き、お陰様で大変充実した中身の濃いフォーラムになりました。御共催、御後援頂きました各種団体や企画・運営にお力を貸して頂いた多くの皆様に深く感謝いたします。

近年、地球温暖化が加速され陸上の変化に留まらず、海流の変化・極圏の凍土や氷雪の融解などに因る生態系への異常な悪影響は人間の社会活動にも大きな危機感を及ぼしています。

このような状況を背景として、今、自然と人間が共生できる持続可能な世界の早期の確立が求められています。

自然との共生を通して、生態系の保全や生物多様性の推進に向けたビオトープ活動への期待と重要性は、今後ますます高まるものと思います。本年も更なるビオトープ思想の普及啓蒙活動に力を注ぎたいと思います。

会員、BA アドバイザーの皆様には今後も引き続き絶大なる御支援・御協力を賜ります様お願い申し上げます。

2026年4月 会長 久郷 慎治

本年度は以下の活動を行う予定であります。

引き続き、ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

1. 総会の開催

「第24回通常総会」

日時:2026(令和8)年6月12日(金)11:00～11:30 予定

場所:広島エールエール A 館6F会議室 ROOM6 (広島県広島市南区松原町9-1)

2. フォーラムの開催

一山・川・海と人がつなぐネイチャーポジティブ時代の環境保全のあり方

「ビオトープフォーラム in 広島 2026」

日時:2026年(令和8年)6月12日(金) 12:50 ～17:30 予定

場所:広島エールエール A 館6F-1

エクスカッションを翌13日、江田島市古鷹山ビオトープの視察

関連事業の「ネイチャーポジティブアクション・ポスター展」を合わせて実施

日時:2026年(令和8年)6月12日(10:00～14:00)

場所:広島エールエール A 館6F会議室 ROOM1

広島 JP ビルディング内 2 階 広島大学きてみんさいラボ

3. 常任委員会の活性化(各委員会詳細は、P.14-15)

◇各種研修会の内容充実の検討。

◇ビオトープアドバイザー(BA)認定試験研修会(更新研修会も兼ね)

✧ 神奈川県 2026年秋 開催検討中

✧ 富山県 2026年秋 開催検討中

◇主席 BA 認定研修会、主席 BA 更新認定研修会の開催

第2回理事会日程に併せ開催

2026年度更新対象者3名、うち役員0名 新規受講者の募集・役員へ推薦依頼

◇情報の充実と活用

✧ 機関誌の発刊「ビオトープ」58・59号

✧ WEBサイトの随時更新とWEB・MLによる会員への積極的情報の提供

月1回「ビオトープだより」発行

4. 地区委員会の活性化(各地区詳細は、P.15-16)

◇協会には、ビオトープ事業関連に優秀な技術・ノウハウを有している多くの法人会員と、地域活動に取り組んでおられる個人会員が参加している。これらの会員の技術、アイデア、経験等の力を結集し、ビオトープの理念を共有化して活動を更に推進する。

また、地域それぞれの特性を生かしたビオトープを復元、創出、撫育、活用し、社会に貢献していくために各地区で研修会、フォーラムを計画、実施を推進する。

本年度も地区委員会の事業の更なる活性化を進め、地区の事業計画を立案し事業の理念を共有化していく。

◇上記活動を研修委員長がフォローしていく。

◇各地区活動状況等を地区長に提出いただき、協会誌(30号より継続中)に掲載する。

5. 震災復興に関する支援活動

◇人的・技術的な支援・協力の検討。

◇他団体との連携。

6. CSR推進企業とのコラボレート(協働)、学校支援等を継続

学校・公園・企業ビオトープ等、身近にビオトープを拡大していく。

本年度も、生物多様性に関するセミナーを各地で予定。

◇野村不動産株式会社のCSR「ホテルのすむ街づくり」のイベント計画検討中

◇引き続き学校法人小野学園への環境教育支援、全面的なバックアップを行う。

今後関東地区委員が中心となり協会でもフォローしていく。

◇地域の生態系を保全する活動を実践する。

・講師派遣

・ビオトープづくりの技術指導

◇自然環境復元学会への後援・協力

7. 顕彰委員会

第 19 回ビオトープ顕彰の募集(2026 年度)及び審査(2027 年 4 月予定)実施
 ビオトープ顕彰の積極的な展開・活用について検討し推進する。

8. 協会発行書籍・冊子の頒布

ビオトープの利活用資料集「ビオトープづくりの心と技」「ビオトープの維持管理改訂版」を
 使用して勉強会、研修会の開催

9. 会員拡大

会員拡大を各地区の目標とする。

■ 各常任委員会・地区委員会における具体的取組

常任委員会

委員会名	事業内容
総務委員会	1. ビオトープだよりの発行のアシスト 2. 会員からの相談事項への対応 3. 出前授業の開催 4. 「ビオトープってなあに？」冊子、「ビオトープづくりの心と技」本の活用 5. 顕彰の募集のアシスト 6. 総務委員会の情報交換とビオトープ協会の改善
情報委員会	1. 協会誌の発行 ・「ビオトープ 58 号」2026 年 8 月末発行 ・「ビオトープ 59 号」2027 年 1 月末発行 2. 情報委員会開催 協会誌 60・61 号企画会議 2027 年 2 月
研修委員会	1. 「ビオトープづくりの心と技」販売促進 2. 認定研修会への協力 ・BA 研修会、更新講習会の実施、日程検討、受けたくなる PR 検討 3. 現地研修会の実施
技術委員会	1. 技術メモの発信 年回3回程度発信予定 2. 各地区フォローアップ R8 年度静岡地区興津中町ポット苗生育調査報告予定 3. 対外的提案等 協会、学会等の参加発表
顕彰委員会	1. 第 18 回顕彰委員会(2025 年度募集 2026 年 4 月審査) 2026 年 4 月 20 日 連合会館 2. 第 19 回(2026 年度募集)ビオトープ顕彰の応募・顕彰規定検討、 3. 1 地区最低でも 1 件の募集推進

地区委員会

地区名	事業計画内容
北海道・東北地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大槌町「ミズアオイの池をみんなで守る会」活動支援他 <ul style="list-style-type: none"> ・湧水エリア内シカ食害・クマ対策打合せ(3/30) ・湧水ミズアオイ池のガマ・ヨシ繁茂対策・根茎抜去重機作業(4/3) ・湧水エリアミズアオイ発芽促進かく乱作業(4/11) ・エコアップ計画(植栽)助成金申請獲得・植栽(辻先生) ・ミズアオイ開花町民観察会・座学&試食会(8月) 2. いわき市三和町ホタル水路再生計画」の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・第4回ほたるのさんぽみち in みわ(三和町商工会主催:夏) ・ホタルの生息調査・捕獲・小学校主催ホタル放流会(7月) ・三和小学校児童によるカワニナの繁殖(継続実施) ・ホタル水路・ハナショウブ田の維持管理(春) 3. 尾花沢市「徳良湖」環境調査・清掃活動(春)・講演会支援(継続) 4. 大石田町「町民の森」環境調査・清掃活動(春) 5. 会員の拡大
関東地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自治会・学校ビオトーププロジェクト継続支援実施 <ul style="list-style-type: none"> ・前渡小 学校観察園ほたるの森 ホタル放流会(ひたちなか市) ・村松小ビオトープ ホタル放流・観賞会(東海村) ・常葉台ビオトープ ホタル観賞会 生物調査 2回(ひたちなか市) ・高野宿ビオトープ ホタル放流・観賞会 生物調査 3回 2. 地域ホタル飼育活動の継続実施 3. 上大野小学校ビオトープ計画支援(茨城県水戸市) 4. 赤羽小学校ビオトープ運営継続支援(東京都港区) 5. 東京都立雪谷高校ビオトープ計画支援(東京都大田区) 6. 他団体との情報連携強化 7. 会員拡充
北陸・信越地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県内ビオトープ関連団体との交流及情報連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープ管理士会富山県支部との合同研修会 ・富山県ビオトープ協同組合との先進地視察研修 ・射水ビオトープ協会との勉強会 2. 会員の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・隣県の石川県・新潟県への働きかけ ・BAを介した会員の勧誘 3. 日本ビオトープ管理士会信州支部の研修会「ビオトープを活かすプラットフォームとしての域経済」に参加(11月29日) 4. 「“とやま”川の会 現地研修会」に参加(12月15日)
静岡地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静岡地区会の開催 5月予定 2. 麻機遊水地保全活用推進協議会の参加 <ul style="list-style-type: none"> ・麻機遊水地クリーン作戦 5月予定 3. 麻機湿原を保全する会 活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会 協力 5月予定 ・サクラタデ観察会 10月予定 ・希少種保全エリア環境整備 3月予定 4. 学校、福祉、企業ビオトープ維持管理支援 5. 会員拡大

中部地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中部ブロック会議の開催 2. 生物多様性ネットワーク協議会への参加 3. 愛知県主催の環境イベントへの参加 4. ビオトープ勉強会 5. 協会本『ビオトープづくりの心と技』の販売活動 6. 会員募集 法人・個人会員
近畿地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工場内ビオトープみどりといきもののモニタリング・保全活動へ協力 2. びわこ地球市民の森 カメ観察会 3. 滋賀県特定外来生物対策への協力(ナガエツルノゲイトウ除去) 4. 琵琶湖岸ヨシ植栽とハマゴウと地域の勉強会および保全活動への協力 5. 農業用排水路の水草 重要貴重種アサザ保全対策 地域清掃活動への参加協力、藻の除去 6. 老蘇小学校ビオトープ観察会協力 7. 希望が丘文化公園(森林・小川) 観察会・生物調査
中・四国地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 古鷹山ビオトープ保全活動(江田島市) ・「ビオトープの撫育管理とカダヤシに駆除」 2. ビオトープフォーラムの開催(6月12日から13日) 6月12日(広島エールエール館) 6月13日(古鷹山ビオトープでの視察研修会) 3. 安芸津町に三津大川・ビオトープ観察会の実施(東広島市) (3年計画でホタルの里復元)(公園と川の生き物観察・ホタル紙芝居) 4. 老健・特養でのホタルの紙芝居上演 5. 東京の板橋小学校への出前授業 6. 地区内の学校へ『ホタルの紙芝居上演』 7. 会員拡充
九州地区	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域自治体・学校ビオトープ活動支援:状況観察実施 2. 海岸浸食状況把握 ・日向灘ウミガメ孵化送り出し会:浸食状況に歯止めをかける取組の確認・調査継続実施、ウミガメ生態観察・送り出し観察実施 3. 蛍の里環境清掃・学習会:蛍の里環境清掃 4. 会員拡充:継続呼びかけ継続実施

第4号議案 2026年度収支予算

2026年度収支予算書(案)

2026年4月1日から2027年3月31日 特定非営利活動法人 日本ピオトーブ協会

科目	2025年度 予算額	2026年度 予算額	増減	備考
経常収入の部				
1 会費収入	5,400,000	5,420,000	-20,000	法人1社退会 退会可能性のある法人1社、個人数名を事前に引いて計算 2社入会予定
2 事業収入				
ピオトーブ技術者養成事業	750,000	750,000	0	主席・BA認定研修会・更新、スキルアップ・提案講座等研修会受講料
事例集	25,000	0	25,000	
3 助成金			0	
4 寄付金	0	0	0	
5 前期繰越金	573,234	389,738	183,496	
経常収入合計	6,748,234	6,559,738	188,496	
支出の部				
1 事業費				
ピオトーブ技術者養成事業	600,000	600,000		会場費、講師料、資料、認定カード等
ピオトーブ啓蒙事業				
資料作成(協会誌、パンフ等)	500,000	500,000	0	
WEBサイト	34,760	34,760	0	サーバー利用料、メールリスト用サーバー利用料
常設委員会	150,000	150,000	0	総務・情報・研修・技術、他
特別委員会・その他委員会	150,000	150,000	0	顕彰、他
シンポジウム・セミナー	400,000	542,000	-142,000	ピオトーブフォーラム
各地区委員会活動費、他	330,000	330,000	0	
BA基礎講座テキスト改訂、他	340,000	0	340,000	テキスト改定完了のため
2 管理費				
旅費交通費	204,000	204,000	0	管理費各科目に総会関連費用含む
通信費	140,000	140,000	0	
会議費	10,000	10,000	0	
図書費	10,000	10,000	0	
支払手数料	10,000	10,000	0	
地代家賃	696,000	696,000	0	更新費用63,800円は「手数料」に区分
水道光熱費	60,000	60,000	0	
損害保険料	6,000	6,000	0	火災保険
手数料	63,800	0	63,800	2年ごとの事務所更新費・不動産手数料
給与	2,400,000	2,400,000	0	
法定福利・福利厚生費	450,000	500,000	-50,000	
租税公課	700	700	0	
備消耗品費	20,000	10,000	10,000	
印刷費	30,000	10,000	20,000	
雑費	120,000	110,000	10,000	自然環境復元学会賛助会費、他
静岡事務所	0	0	0	
3 予備費	22,974	86,278	-63,304	
経常支出合計	6,748,234	6,559,738	188,496	
経常支出差額	0	0	0	
その他資金収入の部				
受取利息	0	0	0	
次期繰越正味財産	0	0	0	